

超音波検査による各種軟部腫瘍における良悪性鑑別所見の検討

【研究の概要】

軟部腫瘍とは、皮下脂肪、筋肉、線維、血管、神経から生じ、整形外科などで診療を受けることの多い腫瘍です。腫瘍が良性か悪性か判断し、早期に治療方針を決定することが重要であることは他の腫瘍と同様です。画像検査はそれを判断する一つの手法であり、軟部腫瘍においてはMRI検査が有用ですが、近年ではその前に侵襲性の低い超音波検査をスクリーニングとして行なう機会も増えています。しかし、各軟部腫瘍における良悪性を区別する個々の超音波検査所見上の鑑別点については十分に明らかになっていません。そこで、超音波検査でみられる所見と、手術や生検で明らかになった軟部腫瘍の良悪性を中心とする所見の関係を検討します。これにより、超音波検査の段階でも良悪性を正確に推定し、診療上有用な情報を検査室から提供できるようになれば、早期の的確な診療に繋がるものと考えます。

【研究の対象】

軟部腫瘍が疑われ臨床検査部の生理機能検査室で超音波検査を受けた方、あるいは他の目的で超音波検査を受けて偶然に軟部腫瘍が発見された方における、超音波画像所見と病理学的所見。

【予定症例数ならびに研究期間】

予定症例数：各種軟部腫瘍に関して各々、良性腫瘍75例、悪性腫瘍75例

研究期間：2022年6月10日～2027年3月31日

後向き調査期間(対象患者さんの受診期間)：2010年1月1日～2026年12月31日

【研究の方法】

超音波検査時に得られる画像所見と、その後の手術で摘出された検体や生検による検体の病理検査所見などの情報との関連性を検討します。

【研究場所】

杏林大学医学部付属病院臨床検査部

【予想される有害事象】

超音波検査は一般的に身体に悪影響はありません。また、通常行われる検査を大きく逸脱するものではありません。更に、超音波検査や病理検査などは、既に予定されたもしくは行

なわれた検査結果を検討の対象といたしますので、本研究を目的に改めて検査を受けていただくことはありません。

【個人情報の保護について】

これらの検討には患者さんの貴重な検査結果を使用させていただいておりますが、全て匿名化したデータを解析しております。そのため、患者さん個人が特定されることは一切ありませんのでご安心下さい。ご自身の検査結果がこれら検討に含まれることを希望なさらない場合には、臨床検査部までどうぞ遠慮なくお申し出下さい。

【研究対象者の権利について】

研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧をご希望の場合、また 対象となる患者さんおよび関係の方で、ご相談になりたいことがある場合には、研究責任者までご連絡下さい。超音波画像所見や病理学的所見に関して、個人情報としてお知りになりたい場合には、診療方針に関わることもありますので、担当医師にご相談いただくこととなります。

【倫理審査】

本研究は、杏林大学医学部倫理委員会において審議され承認されています。

承認番号:1956 承認日:2022年6月10日 (2023年10月更新)

【研究体制】

研究代表者:

鳶森 直子 (杏林大学医学部附属病院 臨床検査部)

研究責任者:

鳶森 直子 (杏林大学医学部附属病院 臨床検査部)

共同研究者:

岸野 智則 (杏林大学保健学部 臨床工学科/ 兼担: 医学部 臨床検査医学)

森井 健司 (杏林大学医学部 整形外科学)

柴原 純二 (杏林大学医学部 病理学)

大西 宏明 (杏林大学医学部 臨床検査医学/ 杏林大学医学部附属病院 臨床検査部長)

大坂 真以子 (杏林大学医学部附属病院 臨床検査部)

松島 早月 (杏林大学医学部 臨床検査医学)

山崎 聡子 (杏林大学医学部 臨床検査医学)

大塚 弘毅 (杏林大学医学部 臨床検査医学)

安戸 裕貴 (杏林大学医学部 臨床検査医学)

渡邊 卓 (杏林大学 学長)

【連絡先】

事務局:

鳶森 直子 (杏林大学 医学部附属病院 臨床検査部)

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

Tel: 0422-47-5511 (内線:2824)